第39号
PIWU
2015年11月2日

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

「マイナンバー郵便」配達はじまる
労働条件・健康管理求めて要求書提出

最繁忙期直前の11月に入り「マイナンバー」郵便が搬入され、配達が始まります。当初、搬入は10月を予定されていたようですが、遅れているようです。このままでは年賀販売や小包繁忙、年末の郵便物の増加など、年末繁忙にずれ込み「大変な状況になる」との心配の声が上がっています。

東京地本は、このままでは時間外労働、廃休・非番日買い上げが年末繁忙へとつづき社員の健康に大きな影響を及ぼす懸念もあり、労働条件の確保、健康管理に万全を期すことを求めて10月26日に要求書を提出しました。

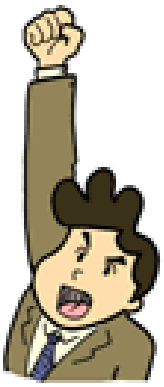
要求書では、年末で業務量の増大が想定される中で、マイナンバー郵便に対する支社の対策を求めました。具体的には、大型マンション等の配達は、個別の玄関先インターホンで配達できるよう管理組合等に申し入れる事。廃休・非番日買い上げは最小限とし、強制しない事。サービス残業や休憩・休息時間の管理を徹底すること、マイナンバー郵便に限り、不在再配達指定時間帯を特別（夜間希望時間帯をなくす。午前と午後5時までの2回など）に設けるなどを求めました。

あなたの加入が力になります

「65歳まで働けるか不安」「正社員化をもっと進めてほしい」「年休が取れない」「人員が少なすぎる」・・・こんなことはありませんか？みんなの声を要求にして改善を求めていきましょう。要求実現には、あなたの組合加入が大きな力になります。要求実現のために一緒に行動しましょう。

これ以上の労働強化にSTOP

日ごろの人員不足が原因で交通事故の多発と仕事の事故・間違えが後を絶ちません。

時間外労働や有給休暇、休憩・休息、社員の健康管理義務や均等待遇など法律や規則で定められている「最低基準」すら守られていないのが郵便局の現状です。

最近、「人員不足で毎日残業。その上休みもとれない」と職場を辞める人も出ています。このままで良いわけがありません。諦めることなくみんなで声をあげ一つ一つ改善しましょう